

令和7年度（2025年度）第33医学研究助成対象者決定！

認定 NPO 法人日本多発性硬化症協会

令和7年度は11名の方々よりご応募をいただき、誠にありがとうございました。
選考委員4名の先生方に評価をお願いいたしました。今回ご応募いただきました皆様の
内容が非常にハイレベルな研究であり、先生方の評価は大変でしたと伺っております。
最終的に以下3名の先生方を助成対象者と決定いたしましたのでお知らせ申し上げます。
今回ご応募くださりましたすべての皆様に、厚く御礼を申し上げます。

なお、以下3名の先生方は、令和8年（2026年）10月に浜松町コンベンション
ホールにて行われます第38回日本神経免疫学会学術集会（大会長、東京女子医科大学
医療安全科・脳神経内科兼務 教授、清水優子先生）にて研究発表を披露させていただきます。
何卒よろしくお願い申し上げます。

令和8年度（2026年度）の医学研究助成も継続企画予定して参りますので、何卒
ご応募の程、宜しく願い申し上げます。

園田 優貴 先生

順天堂大学医学部放射線診断学講座 助手

「PRL(Paramagnetic Rim Lesion) 検出における SWI(Susceptibility-Weighted
Imaging) パラメータの最適化及び先進的MRIを用いた CAL(Chronic Active Lesion)
病変の高精度抽出モデルの開発」

荒武 由利子 先生

京都大学大学院医学研究科臨床神経学 大学院生

国立精神・神経医療研究センター 神経研究所免疫研究部 研究生

「視神経脊髄炎における補体 C5a-Tfh-B 細胞軸」の役割と抗 AQP4 抗体産生機構の
解明」

城間 京香 先生

神戸大学大学院医学研究科内科学講座脳神経内科学分野 大学院生

「視神経脊髄炎患者の T 細胞における共抑制性分子およびその細胞機能の探索」

令和8年6月吉日

以上